

平成30年度

白井市市民団体活動支援補助金 公開成果報告会 & 助成金講座

令和元年5月31日(金)14時15分～16時30分

会場:しろい市民まちづくりサポートセンター多目的スペース

第1部 公開成果報告会(14時15分～15時30分)

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 趣旨・進行説明
- 4 補助金交付団体からの成果報告(発表10分+質疑5分)

順番	補助金 タイプ	団体名[事業名]	頁
1	活動 発展型	ステップ [学習支援]	1～4
2	活動 発展型	特定非営利活動法人白井助け合いネット [介護施設ふれあいサロン事業]	5～11
3	活動 発展型	ふじ元気ひろば [子ども・子育て世代・高齢者・障がい者等への支援交流事業]	12～19

- 5 講評 市民活動推進委員会 委員長 関口宏聡
(特定非営利活動法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 代表理事)
6. 閉会

第2部 助成金講座(15時30分～16時30分)

講座 「知っ得！市民活動団体のための民間助成金の仕組みと活用法」

公益的な活動に取り組む市民活動団体は、活動資金面で課題を抱えている団体が少なくありません。

これからの市民活動団体の安定的・継続発展的な活動と自立した団体運営を支援するため、民間助成金の仕組みや活用方法などを交え、民間助成金を紹介します。

講師 (独)福祉医療機構 NPO リソースセンターNPO 支援課 係長 渡真利 紘一さん

1

団体名	ステップ		
事業名	学習支援		
事業概要	経済的な理由等で支援が必要な子供への学習支援をする。		
補助事業費 総額	248,817円	補助申請額	100,000円

平成30年度市民団体活動支援補助金公開成果報告会

(1) 事業目的

①実施の理由・背景

比較的豊かな地域といわれる白井市でも、経済格差が広がっていると感じる。経済的な理由で塾に行けない、落ち着いて家庭学習に取り組むことが困難などの理由で基礎学力が定着していない子どもが存在する。また、学習支援を希望する家庭が多数存在している。

事業開始に先駆け平成28年の冬休みに白井駅前センターの指定管理者と協働で9日間学習支援の勉強会を開催したところ、参加した生徒・保護者から今後も継続してほしいとの要望が強く、私たちもその必要性を痛感した。

②目標（ねらい・効果）

学習支援をすることにより、自分で学習のつまづきを解決する能力をつけ、個々の学力向上を図るとともに人との繋がりを育み自立心を育てる。

(2) 事業の内容

①具体的内容

時期：平成30年4月から平成31年3月

場所：白井駅前センター、研修室・視聴覚室

対象：市内の中学生

内容：学習指導

方法：少人数及び必要に応じてマンツーマン指導

回数：週2回、火曜日と金曜日、4月から7月：18時から20時半

9月以降：17時から20時

8月は別途日程

年間85回 のべ736人

②実施体制

人数や体制：教員OB、塾指導経験者、語学（英語）堪能者等、10名

③告知方法

市広報、駅前センター・南山中学校にポスター掲示、教育委員会から要保護・準要保護世帯へ通知で送付

(3) 問題・対応策

不登校生徒に対する指導、市教育委員会との連携

(4) 成果と課題

①受講生が11名で、南山中10名、大山口中1名。3年生4名、2年生4名、1年生4名であった。3年生は全員希望の高校に進学した。

②課題

1. 場所の確保 毎週火曜日は優先確保された
2. 会場費の負担 年間9万円近くかかる
3. 講師陣の充実 大学生の参加を求めている。今年度、その費用（交通費・講師料）を加えて補助金を増額申請した
4. 学習支援に対する市民のニーズ
市が実施したアンケートの結果を知りたい

*若者の貧困対策としての学習支援という観点からは、文科省が提起しているものであり、白井市が市の事業としてこの問題に取り組むことを強く要望する。

私たちは、その地ならし、下準備、文字通りステップとなることを期して、補助金の申請をしている。

[参考] 2018年度会計報告

収入	前年度繰越金	32,817
	市の補助金	100,000
	会費 11人	22,000
	賛助会費 94口	94,000
	計	248,817
支出	会場費	89,140
	外部講師交通費	35,340
	教科書・資料・事務	39,515
	閉講式茶菓代	12,732
	計	176,727
	次年度繰越金	72,090

**自主財源確保のために、

今年度も賛助会員（1口、1,000円）になってください。

賛助会員募集

1口 1000円

私たち 学習支援 ステップは

経済的な理由で塾に行けない、落ち着いて家庭学習に取り組むことが困難などの理由で基礎学力が定着していない子ども

への学習指導を無料で実施しています。

場所は白井駅前センターの視聴覚室や研修室
対象は市内の中学生

この会を運営するために、趣旨に賛同して財政を支えてくださる賛助会員を募集しています。



連絡先：栗原茂幸

TEL:047-491-5084 090-2305-4357

2

団体名	特定非営利活動法人白井助け合いネット		
事業名	介護施設ふれあいサロン事業		
事業概要	社会福祉施設などの利用者及び近隣の住民参加で相互の親睦を深めるため「サロン」を開設する。サロンは少額の参加料で誰でも自由に参加でき、飲み物を飲み、おしゃべりをし、一緒に歌い、知らない者同士が知り合う場となり、老いも若きも楽しい輪の広がる場になることを目的にする。		
補助事業費 総額	264,944円	補助申請額	172,000円

介護施設“ふれ あいサロン事業” 平成30年度事業 報告

NPO法人白井助け合いネット

事業概要

名称は各施設名に“サロン”をつける
“サロンさつきの里”“サロンリハモードヴィラ”
“サロン菊華園”“サロンアンスリール”



1. 参加対象者: 白井市
在住の市民なら誰でも



2. 参加費: 100円のみ



3. 飲み物(コーヒー・紅茶・緑
茶・麦茶など)



4. 音楽を聴き・歌い、折り紙な
どの作業を通じて、集う人同士
の相互理解を深める

事業の目的

1. 高齢化に伴う
孤立化の防止

2. 施設内の人々
だけでなく、近隣
住民との交流を促
進する

事業のやわらい ・期待効果

- ・ 楽しいイベント、みんなで一緒に歌う、折り紙などの作業で閉じこもりがちな環境から解放する
- ・ 次回への参加期待が生活への活力を醸成する
- ・ 最後に実施する体操が健康維持の効果が期待できる

サロン継続の 効果過去の 経験で得られ た効果

1. お仲間と一緒に（同伴）・・・誘い合
わせたの参加：楽しいイベントへの期待
2. 健康への関心が高まる・・・前向き
な
とりくみの気持ち
○締めくくりの梨トレ体操
○みんなで歌う：楽しさの雰囲気・
参加意識
3. 折り紙の作業・・・作業の過程で教
え
合うなどでの仲間意識
○仲良くなる

事業の内容 その1:実施施設、時期など



1. 実施時期：施設の余裕のある時、または決まった日時・曜日に実施する（実施の確実性）



2. 場所：施設内の通常使用場所



「さつきの里」（リハビリルーム）



「リハモードヴィラ 白井」（デイサービスルーム）
「菊華園」「アンスリール」（デイサービスルーム）

事業の内容 その2:告知方法

- ▶ 1. チラシの作成方針 ; カラー印刷を原則とする
- ▶ イベントなど不特定多数の配布で部数の多いときはモノクロとする
- ▶ 2. 配布地域 : 白井市の各公民館、各福祉団体
- ▶ 方法 開始施設と関連施設
- ▶ 知人・友人（口コミ）の利用
- ▶ 開催地域の自治会等への協力依頼

事業内容

その3:サロンの内容

- 1. 受付開始 : 13 : 00 ~
- 2. サロン開始 : 13 : 30 ~
- 3. 頭の体操
- 4. 折り紙の時間と
体調トレーニング : 13 : 50 ~
- 5. 音楽の時間 : 14 : 30 ~
- 6. 梨取れ体操 : 15 : 20 ~

事業内容

その4:サロンの実施体制

- 1. 当団体会員 : 6名
- 2. 協力団体 : 3 ~ 5名 (生き生きライフ)
- 3. 協力 : 市役所健康課 (1 ~ 3名)、
施設職員 (1 ~ 3名)
- 4. 出演 : 音楽・芸能ボランティア個人・
団体
(1 ~ 15名)

事業内容

その5:サロンの開催実績・上期

月	具体的な取り組み	場所・人数等
4	さつきの里、 4/18実施、参加者28名	さつきの里 10名+応援出演
5	さつきの里祭り参加、5/26、参加者未確認	4名+応援2名
6	さつきの里、 6/20実施、参加者29名	10名+応援出演
8	さつきの里、 8/22実施、参加者52名	12名+応援出演15名

事業内容

その6:サロンの開催実績・下期

月	具体的な取り組み	場所・人数等
10	さつきの里、 10/17実施、参加者24名	8名+応援出演1名
11	リファモードヴィラ、2回実施、11/10、参加者9名 11/18、参加者12名	14名+応援出演1名
12	さつきの里、 12/19実施、参加者23名	さつきの里、 10名+応援出演
1	リファモードヴィラ、1/5実施、参加者26名 菊華園（新規）、1/20実施、参加者27名	リファモードヴィラ9名、 菊華園9名
2	アンスリール（新規）2/12実施、参加者22名 さつきの里、 2/20実施、参加者18名	アンスリール9名+応援出演2 さつきの里8名+応援出演
3	リファモードヴィラ、3/2実施、参加者12名 菊華園、3/26実施、参加者18名	6名 10名+応援出演

今後の展望

- 公共サービスの「サロン」は自主財源の確保が会費100円のみなので有料場所の確保が課題となりますが、今後の地域活性化と各施設の地域との融和策として、確実に効果が期待できる方策として重要な「サロン」なので、各方面の理解を得ながら無理なく継続する目標をもって地域定着をすすめたい。

ご清聴ありがとうございました

3

団体名	ふじ元気ひろば		
事業名	ふじ元気ひろば		
事業概要	「地域ぐるみネットワークふれあい会議」活動をベースにして子どもから高齢者、障害を持った方々まで幅広い年齢の方が参加する元気食堂と食育を兼ねた野菜栽培と野外活動		
補助事業費 総額	347,356円	補助申請額	211,000円

平成30年度事業成果報告

ふじ元気ひろば

事業名 子ども・子育て世代・高齢者・障がい者等への支援交流事業

(1) 事業目的

①理由・背景

「地域ぐるみネットワークふれあい会議」で共働き家庭の子の居場所や高齢者・障がい者の孤立と支えあいが問題提起された。

②目標

- 1) 子ども・高齢者・障がい者の支えあいと世代間交流を通じた伝承遊び
- 2) 野菜栽培による食育の推進と野外活動での自然とのふれあい
- 3) 共働き家庭の子どもの居場所づくり
- 4) 食事に困っている人たちへの援助

(2) 事業の内容

①事業の内容

- 1) 時期：毎月
- 2) 場所：富士地区の畑・保育園・富士センター・グループホーム
- 3) 対象：市内の子ども・高齢者・障がい者・子育て中の保護者
- 4) 内容：野菜の栽培と収穫・夏の水遊び・バーベキュー・祭りの出店・音楽会
もちつき・敬老行事・そば打ち・元気食堂
- 5) 回数：月1回

②事業を実施した体制

- * ボランティア・地区社協・民生委員・音楽グループ・保育園職員・グループホーム
- * 白井市社協・健康福祉課・子育て支援課

③告知方法

- * 公的施設へ掲示・ホームページ・学校・学童クラブ・ミニコミ誌・ポステイング

(3) 問題と対応策

- 1) 2月予定の音楽会がインフルエンザの流行で中止⇒5月26日に延期
- 2) 3月予定のジャガイモ植が雨天のため中止⇒当日集まった人には前日収穫した野菜を配り後日保育園児がジャガイモを植えた

(4) 事業成果と課題

①事業成果

毎月の行事を楽しみにしている方もおり2年目として地域に根ざしたと実感しています。

②課題

無償ボランティアを集める限界を感じています。畑作業は毎日の労力が必要ですが募集しても集まらない。

(5) これからの展望

31年度も引き続き活動発展型の支援を受けられるようになり今まで通りの活動ができるようになりましたが、組織のスタッフの増員や労力の確保のための検討が必要となっています。新たな支援先へのアプローチをして我々の活動を理解していただき次に考えている食品ロスをなくす活動につなげていきたいと思えます。この地域が子育てしやすく住みやすく老後も暮らしやすい街として多くの方に住んでみたい街として思われるような活動をしていきます。

事業日程

月	事業内容	参加人員
4月	22 (日) 夏野菜植えと元気食堂	37名
5月	4 (金) こいのぼり祭り 20 (日) サツマイモ植えと元気食堂	820名 32名
6月	24 (日) ジャガイモ収穫と元気食堂	48名
7月	15 (日) 水遊びと元気食堂	51名
8月	1 (水)～4 (土) ステップ・富士センターとの 共同で中学生向けの学習支援を計画したが中止	0名
9月	16 (日) グループホームで敬老会 元気食堂とふれあいコンサート	48名
10月	運動会・ふるさと祭り・神社祭礼のため中止	
11月	3 (土) 収穫祭とバーベキュー	74名
12月	27 (木) 年越しそばを食べる会	41名
1月	13 (日) 新春もちつき会と伝承遊び	52名
2月	10 (日) 音楽会 インフルエンザで中止⇒5月26日に延期	
3月	21 (水) ジャガイモ植え雨天のため中止 前日収穫した野菜を配る	10名



こいのぼり祭り

野菜の収穫



そば打ち



新年もちつき会



伝承遊び

